

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	toiro相模大野		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日	～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業員評価実施期間	2024年 12月 1日	～	2025年 12月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当日の支援共有や情報共有の時間確保	活動の目的や児童の最近の様子など共有し合う	家庭からの情報などを活かしていく
2	職員の役割分担	毎月ローテーションにして偏りなく業務に取り組み	1人の職員に負担を掛けないようにどの職員も同じ業務が滞りなく行なっていく
3	様々な活動を企画している	児童の意見や家庭での話を参考にしている	児童や保護者から振り返りを行ない、活かしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士や地域との繋がりが少ない。	保護者会や地域協議会等を開いたり参加する機会がない	協議会等の参加や保護者会の検討
2	放課後デイサービスのその先がない	年齢層的にも放課後デイサービスの利用で終わり、その後	相談事業所や地域と連携を深めていく
3			

日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。

いいえの方が多いため、「LINEworksを活用していく」など工夫点をいただけますでしょうか。

公表等からの事業所評価の集計結果

事業所名 toiro相模大野

公表日 _____
利用児童数 0

回収数 0

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	0	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	0	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、こ	0	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こ	0	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられ	0	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると	0	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上	0	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デ	0	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	0	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があります	0	0	0	0		
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説	0	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	0	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族	0	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通	0	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	0	0	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設	0	0	0	0		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、	0	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	0	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や	0	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	0	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症	0	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われ	0	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保	0	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生し	0	0	0	0		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	0	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	0	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	0	0	0	0		

公表 所における自己評価結果

事業所名		公表日			
toiro相模大野					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	狭いなりに活動スペースを区切っている	廊下スペースの活用
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	10			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	10			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	6	4	一つしか部屋がないため限られたことを行なっている	クールダウンの場所の確保
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）が実施されているか。	10			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	10			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施しているか。	10			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズを把握しているか。	7	3		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理手帳を参考にしているか。	6	4		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	3		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	8	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインを参考にしているか。	6	4		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか。	8	2		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援内容を共有しているか。	10			
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援内容を共有しているか。	2	8	当日公休の職員もいるため、LINEWorksを活用した情報共有を行なっている。		
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	6	HUGのケア記録を活用して日々の記録を取り、よりよい支援に繋げようと工夫している。		
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っているか。	7	3			
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数実施しているか。	6	4			
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促しているか。	6	4			
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に参加しているか。	2	8	会議に参加することは少ないが、連絡を受けた際には、児発管中心に進めている。		
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保護司等と連携しているか。	4	6	学校にお迎えに行く際には、その日の様子を持っていく	聞き取った職員と家庭にお送りする職員が違っていると学校での様子が伝えられないことがあるため、HUGを活用していく。	
28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校の様子等）を行っているか。	8	2			

いいえの方が多いため、「LINEworksを活用していく」など工夫点をいただけますでしょうか。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	7	家庭から就学前の様子は聞くことがある。	機会があれば、就学前の様子を聞いて支援に活かしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		10		そのような事例なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		10		地域連携が少ないため積極的に参加を促していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		10		地域との交流機会が少ないため、今後地域イベントに参加してみる
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		10		協議会への参加がないため、協議会への参加から地域との関わりも増やしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	3		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6		今後、機会があれば検討していく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	3		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	4		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	3		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	4		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者会等との連携を図っているか。		10		今後、保護者会の検討をしていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	4		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することや、メール等による連絡等を行っているか。	10			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		ツールを使用する際には伏せ字にして気をつけている	新しい職員への情報共有の仕方をつけている
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		地域の方を招くことがないため、地域に開かれた事業所を目指していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているか。	10			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備えて、必要な対応の体制を整備しているか。	8	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	3		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がとれているか。	6	4		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な対応策を策定しているか。	8	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、送迎時の対応策を策定しているか。	4	6		送迎時に直接体調等、確認し共通理解を図っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応策を策定しているか。	10		研修の際には、事例を出しながら得るシチュエーションを考え、共通認識	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に研修や訓練を行っているか。	6	4		